

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場会社名 イートアンド株式会社

上場取引所 大

コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文野 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 仲田 浩康

TEL 03-6402-3961

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,624	4.8	530	△16.8	536	△14.0	315	△5.6
24年3月期第2四半期	9,186	—	637	—	623	—	334	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	84.03	75.51
24年3月期第2四半期	100.04	90.85

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	9,528	3,021	31.6	792.02
24年3月期	8,697	2,727	31.4	741.30

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,014百万円 24年3月期 2,727百万円

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,001	11.8	1,194	14.4	1,165	9.6	579	12.8	153.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	3,814,545 株	24年3月期	3,678,795 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	50 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	3,757,763 株	24年3月期2Q	3,342,635 株

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数および期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
(1) 仕入実績	12
(2) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要を背景として底堅くはあるものの、欧州の債務危機の先行きの不確実性の高さや、米国の景気停滞、中国の景気減速の兆候のほか、領土問題による人材・物資の交流の減速などを受け、上向きの流れを見出しにくい状況となっております。

食品業界におきましては、若年層で経済志向が強まりつつあるものの、消費者全体では味や地元産といった付加価値的要因への志向が強まりつつあることを受け、大量生産品を多く扱う総合スーパーや食品スーパーでは景況判断が下向きとなっているものの、飲食店や百貨店では景況判断が上向きとなっております。

また、外食業界におきましては、業界を牽引しているファストフード業態で客数減少により既存店売上の伸びが鈍るなど、上記の動きを裏打ちする動きが散見されます。

このような状況の下、当社におきましては、主要ブランド大阪王将の主力商品である焼餃子の具をリニューアルしました。食料品販売事業におきましては、競合他社に対する価格優位性を量販各社に訴求するとともに、広告企画の提案・協賛を強め、当期間ならびに第3四半期以降の収益確保に努めました。また、その他間接部門を中心に経費支出1件ごとの効果を重視し、統制強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の当社の業績は、売上高が96億24百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益が5億30百万円（同16.8%減）、経常利益が5億36百万円（同14.0%減）、四半期純利益が3億15百万円（同5.6%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

外食事業

外食事業におきましては、主要ブランド大阪王将で販売する焼餃子の具に使用するニンニクの食後のにおい軽減に成功し、8月下旬より各地域にて順次展開を開始いたしました。また、ラーメン業態におきましては、太陽のトマト麺ブランドのフードコートでの運営パッケージ構築ならびにロードサイド店舗の改装に着手いたしました。その他レストラン業態では、各ブランドの強みの再確認・再構築から広範囲にメニューを見直し、新メニューの販促を強化することで売上高増と店舗利益構造改善に取り組みました。

なお、当第2四半期累計期間におきましては、加盟店23店舗（うち海外4店舗）、直営店5店舗の計28店舗を出店した一方、加盟店7店舗（うち海外3店舗）、直営店1店舗の計8店舗を閉店した結果、当第2四半期末店舗数は、加盟店353店舗（うち海外9店舗）、直営店40店舗の計393店舗（うち海外9店舗）となっております。

また、運営形態変更に伴い1店舗を直営店から加盟店、2店舗を加盟店から直営店へと変更しております。

以上の結果、外食事業における当第2四半期累計期間の売上高は、49億74百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、競合他社がこれまでにない量のテレビコマーシャルを投入し、攻勢を強めましたが、量販店への卸価格では当社に優位性があることを訴求するとともに、部門全体で量販店の広告への協賛と企画の立案・提案に努めました。

以上の結果、食料品販売事業における当第2四半期累計期間の売上高は、46億50百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末より8億31百万円増加し、95億28百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1億93百万円減少し、47億74百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より10億24百万円増加し、47億53百万円となりました。主な要因は、平成24年9月に完成しました関東工場にかかる有形固定資産の取得のほか、株式会社ナインブロックの子会社化に伴う株式取得および億特安餐飲管理(上海)有限公司、EAT & INTERNATIONAL (H.K.) CO., LIMITEDへの増資によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末より5億37百万円増加し、65億7百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より3億14百万円増加し、52億14百万円となりました。主な要因は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より2億22百万円増加し、12億92百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末より2億94百万円増加し、30億21百万円となりました。主な要因は、四半期純利益3億15百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は31.6%(前事業年度末31.4%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に対して3億37百万円減少し、5億53百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は37百万円(前年同四半期は1億72百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益5億36百万円の計上などが増加の要因であり、法人税等の支払額2億13百万円、仕入債務の減少額1億82百万円、売上債権の増加額1億35百万円などが減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億34百万円(前年同四半期は60百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億64百万円、関係会社株式の取得による支出97百万円、関係会社出資金の払込による支出36百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は4億59百万円(前年同四半期は3億64百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入による収入3億30百万円、短期借入金の純増減額による増加2億46百万円などが増加の要因であり、配当金の支払い55百万円などが減少の要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月8日付「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表しました業績予想に変更はございません。なお、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後様々な要因により異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成24年6月1日付で、株式会社ナインブロック（非連結子会社）の株式の一部を取得、平成24年7月11日付で、億特安餐飲管理（上海）有限公司（非連結子会社）への増資が完了しております。

（2）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,796	558,256
売掛金	3,410,208	3,545,460
商品及び製品	324,811	299,823
原材料及び貯蔵品	103,196	102,332
前払費用	64,276	103,254
繰延税金資産	95,724	70,785
その他	46,837	96,717
貸倒引当金	4,711	2,125
流動資産合計	4,968,138	4,774,505
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	753,995	1,898,745
土地	1,089,772	1,089,772
その他(純額)	1,134,926	814,940
有形固定資産合計	2,978,694	3,803,459
無形固定資産	45,750	40,422
投資その他の資産		
差入保証金	441,400	513,536
繰延税金資産	114,223	107,298
その他	178,834	319,124
貸倒引当金	29,923	29,923
投資その他の資産合計	704,535	910,036
固定資産合計	3,728,980	4,753,917
資産合計	8,697,118	9,528,423
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,507,196	2,324,892
短期借入金	62,000	308,400
1年内返済予定の長期借入金	80,808	151,980
未払金	1,174,414	1,426,287
未払費用	213,985	235,252
未払法人税等	214,129	189,500
賞与引当金	133,679	116,822
役員賞与引当金	20,550	10,545
売上割戻引当金	335,708	327,503
その他	157,659	123,679
流動負債合計	4,900,130	5,214,864

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
長期借入金	11,446	201,802
退職給付引当金	70,680	75,428
役員退職慰労引当金	264,090	271,570
その他	723,694	743,546
固定負債合計	1,069,910	1,292,346
負債合計	5,970,041	6,507,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	443,172	456,747
資本剰余金	375,608	389,183
利益剰余金	1,907,419	2,168,016
自己株式	-	47
株主資本合計	2,726,200	3,013,899
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	876	1,007
評価・換算差額等合計	876	1,007
新株予約権	-	6,306
純資産合計	2,727,077	3,021,213
負債純資産合計	8,697,118	9,528,423

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,186,802	9,624,848
売上原価	5,927,686	6,217,916
売上総利益	3,259,116	3,406,931
販売費及び一般管理費	2,621,482	2,876,271
営業利益	637,633	530,659
営業外収益		
受取利息	762	633
受取配当金	101	111
受取手数料	5,983	4,462
補助金収入	-	1,750
貸倒引当金戻入額	872	2,586
雑収入	1,021	913
営業外収益合計	8,741	10,457
営業外費用		
支払利息	5,515	4,014
社債利息	50	-
株式交付費	5,716	-
株式公開費用	9,481	-
雑損失	1,844	726
営業外費用合計	22,609	4,741
経常利益	623,765	536,375
特別利益		
投資有価証券売却益	180	-
特別利益合計	180	-
特別損失		
固定資産除却損	12,252	-
投資有価証券売却損	80	-
減損損失	2,139	-
店舗閉鎖損失	2,203	-
特別損失合計	16,676	-
税引前四半期純利益	607,269	536,375
法人税、住民税及び事業税	235,569	188,805
法人税等調整額	37,306	31,791
法人税等合計	272,876	220,597
四半期純利益	334,393	315,778

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	607,269	536,375
減価償却費	130,594	136,543
減損損失	2,139	-
店舗閉鎖損失	2,203	-
投資有価証券売却損益(は益)	99	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,491	4,747
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,170	7,480
賞与引当金の増減額(は減少)	6,632	16,856
役員賞与引当金の増減額(は減少)	3,865	10,004
売上割戻引当金の増減額	76,677	8,204
貸倒引当金の増減額(は減少)	872	2,586
受取利息及び受取配当金	864	744
支払利息	5,565	4,014
株式交付費	5,716	-
株式公開費用	9,481	-
有形固定資産除売却損益(は益)	12,252	-
売上債権の増減額(は増加)	53,691	135,252
たな卸資産の増減額(は増加)	10,010	25,851
その他の資産の増減額(は増加)	22,161	85,874
仕入債務の増減額(は減少)	68,039	182,304
未払費用の増減額(は減少)	2,618	21,267
未払金の増減額(は減少)	255,627	194
未払又は未収消費税等の増減額	52,135	45,352
預り保証金の増減額(は減少)	62,600	22,172
その他の負債の増減額(は減少)	3,733	16,299
小計	445,037	254,780
利息及び配当金の受取額	805	572
利息の支払額	5,512	3,888
法人税等の支払額	267,720	213,875
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,609	37,589

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,000	3,000
定期預金の払戻による収入	-	35,307
有形固定資産の取得による支出	86,934	664,642
無形固定資産の取得による支出	5,300	8,165
関係会社出資金の払込による支出	-	36,500
関係会社株式の取得による支出	-	97,576
出資金の回収による収入	-	1,010
投資有価証券の取得による支出	1,907	-
投資有価証券の売却による収入	763	-
貸付金の回収による収入	4,373	3,737
差入保証金の差入による支出	5,307	73,587
差入保証金の回収による収入	36,540	8,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,772	834,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	4,560	246,400
長期借入れによる収入	-	330,000
長期借入金の返済による支出	106,052	68,472
社債の償還による支出	10,000	-
株式の発行による収入	526,240	-
自己株式の取得による支出	-	47
配当金の支払額	10,060	55,077
株式の発行による支出	15,198	-
リース債務の返済による支出	24,622	26,283
ストックオプションの行使による収入	-	27,150
新株予約権の発行による収入	-	6,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	364,866	459,975
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	476,703	337,231
現金及び現金同等物の期首残高	1,235,247	890,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,711,950	553,256

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書合計 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,737,476	4,449,326	9,186,802	9,186,802	-	9,186,802
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,737,476	4,449,326	9,186,802	9,186,802	-	9,186,802
セグメント利益	452,725	233,104	685,830	685,830	48,196	637,633

(注)1. 当第2四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 48,196千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントの店舗について、2,139千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書合計 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,974,207	4,650,640	9,624,848	9,624,848	-	9,624,848
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,974,207	4,650,640	9,624,848	9,624,848	-	9,624,848
セグメント利益	391,086	194,073	585,159	585,159	54,500	530,659

(注)1. 当第2四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 54,500千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入実績

当第2四半期累計期間における仕入実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額	前年同期比(%)
外食事業(千円)	1,968,081	107.7
食料品販売事業(千円)	2,854,504	102.1
合計(千円)	4,822,586	104.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額	前年同期比(%)
外食事業(千円)	4,974,207	105.0
食料品販売事業(千円)	4,650,640	104.5
合計(千円)	9,624,848	104.8

(注) 1. 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
三菱食品株式会社	2,082,947	22.7	2,377,743	24.7

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。